みんなのJRになってほしい

――――――――だから、裁判です

私たちはJR九州の大分市内の8駅無人化に反対して裁判を起こしました。誰もが同じように安心して乗ることができるJRになってもらいたいからです。

JR（日本旅客鉄道）はもともと国有鉄道（国鉄）でした。地域の交通の要であり、企業の一方的な都合によって、公共交通としての鉄道のあり方を変更し切り捨てることは許されません。障がいがある人や高齢者など支えが必要なすべての人に対して公共交通にふさわしい対応をしてもらいたいという願いを込めた裁判です。

――――みんなが困る駅無人化

駅員さんがいなくなることによって、支えが必要な人は事前の予約（連絡）が求められるようになりました。多くの人が、「駅員さんの笑顔ややさしい声かけにホッとしている人がいることも知ってほしい」「頼りになる駅員さんがいるからこそ安心して利用できます」「駅員さんにどれほど救われたことか」と訴えています。しかしJR九州は無人化の方針を変えようとしません。

――――あなたの声が大切です

私たちは、最後の手段として裁判に訴えました。「事前予約は社会的な障がいをつくる」「時間の自由がきかなくなる」「ホームから転落したときにどうやって助けてくれるのか」などの訴えは、憲法や法律によって受けとめてもらえると信じるからです。「無人化しても、より便利、より安全になる」と言ってきたJR九州の主張が、障がいのある人にとって本当のことなのかどうか。開かれた場で、だれもが安心して利用できる公共交通について多くの人たちと一緒に考え、実現していく第一歩にしたいと考えます。

8月26日 第3回口頭弁論にご参加ください！

・第3回口頭弁論　8月26日(木)14時30分　　大分地方裁判所
（入廷行動　13時30分(予定)）

・裁判終了後、大分県弁護士会館（大分市中島西1-3-14）で報告会及を行います。ぜひご参加ください。

JR駅の無人化に反対する裁判と署名にご協力をお願いします。

JR駅無人化反対訴訟を支援する会

連絡先　大分市都町2丁目7-4-303（在宅障害者支援ネットワーク気付）

電話　097-513-2313　FAX　097-529-7212　メール　info@daremoga-oita.net